

第3回経済トップセミナー

令和3年11月18日14時より、J:COM ホルトホール大分の大ホールにおいて、第3回経済トップセミナーを開催し、四極会員の他、一般市民、学生など多数の方々が聴講されました。

今回お願いした講師は、サッポロビール株式会社の野瀬裕之代表取締役社長。九州工場が日田市にあるご縁もあり、快く講演をご承諾いただきました。



同社は日本人による初めてのビール会社として1876年に北海道で創業しました。発足に関わった村橋久成が旧薩摩藩士だったことから社内では「母は北海道、父は九州」とうたっています。野瀬社長ご自身も九州・福岡県のご出身です。2000年に操業した日田工場は台湾・韓国を中心とするアジアへの輸出拠点と位置付けられています。

講演では、サッポロビールのマーケティング戦略について詳しく語っていただきました。ビールの世界は洋酒や日本酒、焼酎等、他の酒類との競合の他、発泡酒や第三のビールの誕生、税率の変更など激変を繰り返しています。そうした中で重要なのがマーケティング戦略です。サッポロビールでは、個性豊かなブランドでお酒と人との未来を創る一歩先の価値提案として「いちばん星マーケティング」を定め、会社のビジョンにも掲げています。

ワインや焼酎を含む多くの製品がある中で、生の王道を歩む「黒ラベル」と、ビールの多様性を感じてもらう「エビス」を二枚看板としています。黒ラベルの販売は九州でこの10年間に300%近く増えており、特に県民一人当たり販売額は九州の中で大分県が最大だとのこと。エビスの挑戦として、2021年9月には度数0.7%の微アルコール飲料ザドラフィティも発売しました。

マーケティング本部長等を歴任された野瀬社長から直々に販売戦略をお聞きしたセミナー参加者に、サッポロビールのファンが更に増えたことと思います。



経済トップセミナーは、今後、12月9日（木）に九州電力㈱の池辺和弘社長、2022年2月17日（木）に九州旅客鉄道㈱の青柳俊彦社長による講演が予定されています。周りの方にお声がけの上、多数の四極会員に出席賜りますようお願いいたします。